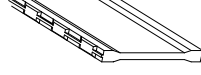
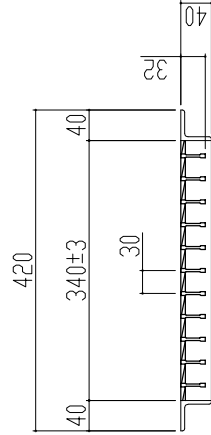
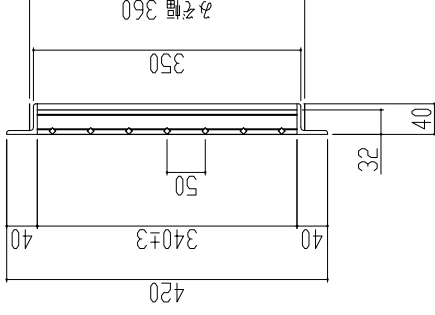
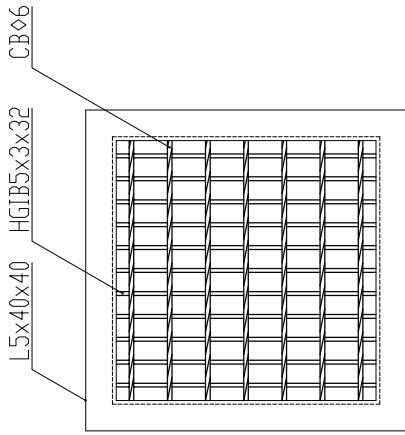


車 輛 進 行 方 向 横 断



重量 8.6 kg

主部材詳細図

表面処理 本体は溶融重鉛メッキ仕上げ
(JIS H8641)

訂正年月日 標準製作図面 訂正年月日 訂正年月日 訂正年月日	訂正番号	訂正事項	訂正者	承認印 承認印 承認印	検査印 山口 検査 数量	製図 松本 製図 縮尺	図面名称 四面ソバ付き(ハイテン) グレーチング 溝幅360用 並目 ノンスリップ T-14・T-6 LNLF325-340/340	図番 MGK-L-505
	標準製作図面							
	訂正年月日							
	訂正年月日							

株式会社 **マキテック**
MK駐輪事業部

グレーチング強度計算書



1 仕様	品名	LNLF325-340/340
	製品寸法	340x340x32
	主部材	I-5 × 3 × 32
	断面係数	Z= 0.794 cm ³

2 設計条件	荷重条件	T-14	支点間距離	L = 360
	後輪一輪荷重	P = 56000 N	衝撃係数	i = 0
	許容応力	$\sigma_b = 320$ N/mm ²	車両進行方向	主部材に対し、横断
	主部材ピッチ	O = 30 mm		
	接地面積	a mm × b mm = 200 mm × 500 mm		

3 強度計算	<p>1. ベアリングバー1本当たりの単位荷重: ω (N/mm)を求める。</p> $\omega = \text{後輪1車荷重} \times (1 + \text{衝撃係数}) \times \text{ピッチ} / \text{接地面積} \quad \text{より}$ $\omega = 56000 \times (1 + 0) \times 30 / 100000$ $\omega = 16.80 \text{ (N/mm)}$
	<p>2. ベアリングバーの最大曲げモーメント: M(N・mm)を求める。</p> $M = \omega \times 0.5 \times a \times (L - 0.5 \times a) / 2 \quad \text{より}$ $M = 16.8 \times 0.5 \times 200 \times (360 - 0.5 \times 200) / 2$ $M = 218,400 \text{ (N・mm)}$
	<p>3. 曲げ応力度: σ_b (N/mm²) を求める。</p> $\sigma_b = M / Z \quad \text{より}$ $\sigma_b = 218,400.0 / 794,000$ $\sigma_b = 275.06 \text{ (N/mm}^2\text{)}$ <p>従って、許容応力 $\sigma_b = 320$ (N/mm²) に対し、</p> $\underline{\underline{275.06 \text{ (N/mm}^2\text{)} \leq 320 \text{ (N/mm}^2\text{)}}}$

4 総括	上記の計算式により、1項目の仕様で、 2項目の設計条件に対し十分な強度を保持致します。
---------	--

グレーチング強度計算書



1 仕 様	品名	LNLF325-340/340
	製品寸法	340x340x32
	主部材	I-5 × 3 × 32
	断面係数	Z= 0.794 cm ³

2 設 計 条 件	荷重条件	T-6	支点間距離	L = 360
	後輪一輪荷重	P = 24000 N	衝撃係数	i = 0
	許容応力	$\sigma_b = 320$ N/mm ²	車両進行方向	主部材に対し、横断
	主部材ピッチ	O = 30 mm		
	接地面積	a mm × b mm = 200 mm × 240 mm		

3 強 度 計 算	<p>1. ベアリングバー1本当たりの単位荷重: ω (N/mm)を求める。</p> <p>$\omega = \text{後輪1車荷重} \times (1 + \text{衝撃係数}) \times \text{ピッチ} / \text{接地面積}$ より</p> <p>$\omega = 24000 \times (1 + 0) \times 30 / 48000$</p> <p>$\omega = 15.00$ (N/mm)</p>
	<p>2. ベアリングバーの最大曲げモーメント: M(N・mm)を求める。</p> <p>$M = \omega \times 0.5 \times a \times (L - 0.5 \times a) / 2$ より</p> <p>$M = 15 \times 0.5 \times 200 \times (360 - 0.5 \times 200) / 2$</p> <p>$M = 195,000$ (N・mm)</p>
	<p>3. 曲げ応力度: σ_b (N/mm²) を求める。</p> <p>$\sigma_b = M / Z$ より</p> <p>$\sigma_b = 195,000.0 / 794,000$</p> <p>$\sigma_b = 245.59$ (N/mm²)</p> <p>従って、許容応力 $\sigma_b = 320$ (N/mm²) に対し、</p> <p style="text-align: center;"><u>245.59 (N/mm²) \leq 320 (N/mm²)</u></p>

4 総 括	上記の計算式により、1項目の仕様で、 2項目の設計条件に対し十分な強度を保持致します。
-------------	--